【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成27年11月26日(2015.11.26)

【公開番号】特開2014-95646(P2014-95646A)
【公開日】平成26年5月22日(2014.5.22)
【年通号数】公開・登録公報2014-027
【出願番号】特願2012-248004(P2012-248004)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｒ　29/12　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｒ　29/12　　Ｆ

【手続補正書】
【提出日】平成27年10月6日(2015.10.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
外部と内部とを連通する一対の通水口が形成されたケースと、
前記ケースの一対の通水口にそれぞれ設けられた通水用のフィルタと、
前記ケース内部に一対のフィルタ間の通水路を塞ぐように配置されるとともに、少なくとも１つの通水・空気抜き用の孔が形成された平板状の銀導体と、
海中で前記導体にめっきするためのめっき用電極とを備えることを特徴とする、液中微小電位測定用電極。
【請求項２】
請求項１に記載の液中微小電位測定用電極を用いた微小電位測定方法であって、
前記液中微小電位測定用電極を海中に浸漬する工程と、
前記ケースの内部を海水で満たす工程と、
前記ケースの内部を海水で満たした後、前記銀導体と前記めっき用電極との間で通電を行い、海中の塩化物イオンにより前記銀導体の表面の銀が塩化銀になることで、前記銀導体に前記塩化銀をめっきする工程と、
前記銀導体に前記塩化銀をめっきした後、前記液中微小電位測定用電極を用いて海中の微小電位測定を行う工程とを含む、微小電位測定方法。